



高崎健康福祉大学附属幼稚園 50周年特集 その2

健大幼稚園バス添乗員で開園当時の担任保育者である〇〇先生に、当時のことを回想していただき、写真もお借りしました。〇〇先生の回想も何回か特集します。

高崎健康福祉大学附属幼稚園（群馬女子短期大学附属幼稚園）50周年に寄せて

〇〇（旧姓 ◎◎）先生

もう、幼稚園が誕生して50年になるんですね。この地域に幼稚園がなく地域の方々の要望で幼稚園が設立されました。今年の3月第49回卒園式に参列した時「あら？4月には第50回入園式？」私は群女幼稚園創立とともに入職し、第1回入園式をどのように計画しようかと新卒の2名（うち一人が私）と経験者2名4人の職員で話し合った時のことを昨日のように思い出しました。敷地内には短期大学と高校の校舎それと園舎だけで周りは、田園風景でした。園庭は、まだ雑草が生えているような土地でした。開園時には78名の園児。年長児（8名）は、今まで通園していた保育園を退園し群女幼稚園に通園してくれました。今まで静かな地域に子どもたちの元気な声が聞こえ、活気が溢れてきました。

当時は、土曜日も保育があり1週間思い切り遊んだ記憶があります。

開園当初は、年長、年中、年少組の3学年1クラスずつでしたが6年後には、360名になるほど人気の幼稚園に成長し、入園願書受付日には、朝早くから並ぶ保護者も見られる年もありました。



← 第1回 入園式

右側の保護者のみなさんは和服に羽織り姿が多かったそうです。
壁際の左から3人目が〇〇先生



↑ 子供たちと広々とした園庭



← もちつき

全員がはちまきをしめてもちつきする子供たち

左側の奥に立っている着物姿の方が「須藤いま子先生」

子供たちを嬉しそうに見守る様子がとても印象的。



↑ 最初の卒園児8名

（文責 園長）